



賢く 優しく 逞しく

7月号・令和5年7月3日発行

本校URL <http://musashimurayama.ed.jp/mmced5c/>

武蔵村山市立第五中学校

有言実行

校長 榎戸 千代子

7月に入りました。二十四節気の一つ「小暑」は、毎年7月7日頃から7月22日頃にあたります。梅雨明けも近くなってセミが鳴き出し、だんだんと暑さが増していく時期です。体にたまった熱気を取り除き、暑い夏を乗り切るための「暑気払い」は、冷や麦やそうめん、キュウリやスイカ、かき氷などが定番です。今では、冷房が当たり前の生活となりましたが、昔ながらの打ち水、風鈴、団扇（うちわ）や扇子（せんす）、浴衣なども風情があり、「涼」を誘います。猛暑となる前に、体を慣らしておきたいものです。



「しょうぎのめいじんになりたい。」—— 6歳の夏、幼稚園の誕生日会カードにそう記した少年は、最年少「名人」獲得記録を約40年ぶりに更新し、20歳10か月で、史上2人目の七冠を制覇しました。時の人、藤井聡太竜王です。まさに、「有言実行」です。

「名人」とは、一般的には「技芸に優れている人。また、その分野で評判の高い人。」とあります。一方、囲碁・将棋の世界では、「江戸時代に九段の技量をもつ最高位者に与えられた称号」で、現在では、将棋のタイトルの名称となっていますが、保持者は「竜王」と並び最高峰の地位とされています。



対戦相手の渡辺名人は、終盤までペースを握っていました。しかし、藤井竜王も負けじと大駒を捨てる勝負手を放ち、互いに攻め合いとなりました。藤井竜王は、わずかな時間で自玉の安全を読み取り、15年越しの夢をつかみ取りました。

終局後本人は、「まだ実感はないですけど、非常にうれしく思います。」と語っています。小さい頃の夢を「有言実行」した藤井名人は、どこまで記録を更新するのでしょうか。

私たちが身の回りの小さなこと、例えば、早寝早起きをする、部屋の片付けをする、テレビやゲームの時間を決める、本を読むなど・・・から、早速「有言実行」したいものです。

ところで、「有言実行」と言えば、前期生徒会本部役員の広報誌（生徒会新聞）の名称が『有言実行』です。生徒会では、前期の活動に「ペットボトルキャップ回収」を掲げました。このペットボトルキャップの回収は、これまでも五中校区小中一貫教育の取組として、生徒会役員が二小、八小、十小に赴き、回収を行ってきました。



このキャップは、ユニセフと連携して世界中の子供たちのワクチン支援に活用されます。例えばポリオワクチンの場合は、2kg（約1000個）のキャップで、ワクチン1本が購入できるそうです。そのため、今年度から本校でも回収を行うことになり、生徒会役員が全校生徒に呼びかけ、6月13日（火）と14日（水）の朝、「有言実行」してくれました。2日間で32kg集まりました。次回は9月に回収する予定です。さらに多くの皆さんの協力をお願いします。

6月16日（金）の午後に「セーフティ教室」が行われました。e ネットキャラバンより講師の先生を招き、「スマートフォン・インターネット・SNSなどの正しい知識と安心・安全な使い方」について学びました。冒頭で、自分用のスマートフォンや携帯電話の所持を聞いたところほとんどの生徒が手を挙げました。また、ゲームは夜中の2時、3時までやっている生徒もいました。これが今の子供たちの実態です。講師の先生からは、ネット依存やネットいじめ、誘い出し、個人情報漏洩など怖さや危険性についてお話をいただきました。より多くの保護者の皆様に一緒に聞いていただきたい内容でした。学校では、情報モラルやSNSの使い方等について繰り返し指導を行っていますが、依然としてLINEなどへの悪口の書き込みや仲間はずれなどのトラブルが後を絶ちません。御家庭でも今一度正しい知識と使い方について親子で話し合っただければと思います。



明るいあいさつ・みんなの笑顔

第五中学校区（二小・八小・十小・五中）